

株主通信

第30期第2四半期
2010.4.1→2010.9.30



■余部鉄橋（兵庫県）



証券コード：3423

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご理解とご支援を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期累計期間における国内経済は、米
国経済の影響を受けての急激な円高進行など、一
時は回復基調にあった企業業績にも下振れ懸念が
強まりつつあり、建設業界でも公共投資の減少に
よる市場の縮小や価格競争激化など厳しい環境が
続いております。

当社グループでは連結子会社の寄与や「橋梁構
造分野」での順調な進捗により売上高は67億37
百万円（前年同期比13.9%増）となりました。

しかし、利益面においては、営業利益が2百万
円（同96.5%減）、経常利益13百万円（同80.8%
減）、四半期純損失26百万円（前年同期は20百万
円の四半期純利益）となっております。

当社はこれからも人々の生命と財産を守るため、
グループ一丸となって社会へ貢献してまいります。

今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申
し上げます。

代表取締役社長

森元 峯夫

SECグループの事業展開



建設用資機材の製造・販売事業

環境・防災分野では土砂災害を防止する永久アンカーや地震発生時に橋桁の落下を防ぐ落橋防止装置などにおいて高い市場シェアを誇っております。また、橋梁構造分野ではSEEE工法技術を応用した橋梁ケーブルや外ケーブルなどを扱っており、建設エンジニアリング分野では斜材ケーブルの提供から架設や現場での技術指導まで行っております。また、近年の公共事業費の縮減や既設建築物の老朽化進行などに伴い、このたび当社では、いち早く橋梁等の補修・補強を専門とする「リペア・テクノ事業部」を設立して急速に高まっているニーズに対応し人々の安全・安心な生活により貢献してまいります。

建築用資材の製造・販売事業

エスイー朝日株式会社に加え、株式会社キョウエイを連結子会社化し、これまで建築分野で使用されてきた製品群を建設分野へも応用することで、シナジー効果の発揮を目指してまいります。

建設コンサルタント事業

世界最高水準の建設技術があるフランスから最先端の技術力やPPP（官民連携）手法などを採り入れながら、国内のみでなくアフリカやベトナムなど海外での事業提案を推進してまいります。

バイオマス事業

環境を考慮した循環型社会の実現に向けて、食品リサイクル処理事業の展開のみならず一歩進めてクリーンエネルギー事業の研究開発にも注力してまいります。

当社ホームページのご案内 <http://www.se-corp.com>

当社は、IR情報やプロジェクトレポートなど、積極的な情報開示を行っております。ホームページも是非ご覧ください。

第2四半期連結財務諸表

連結貸借対照表（単位：千円）

科 目	当第2四半期末 2010.9.30現在	前期末 2010.3.31現在
資産の部		
流動資産	10,037,123	10,882,302
現金及び預金	2,917,878	2,675,351
受取手形及び売掛金	5,114,503	6,529,037
商品及び製品	298,613	305,505
仕掛品	365,395	157,734
原材料及び貯蔵品	1,065,567	942,864
その他	324,797	324,310
貸倒引当金	△49,632	△52,500
固定資産	5,525,355	5,729,215
有形固定資産	4,029,146	4,078,663
建物及び構築物（純額）	1,288,674	1,302,796
機械装置及び運搬具（純額）	448,939	473,850
工具、器具及び備品（純額）	84,409	98,269
土地	2,200,210	2,200,210
リース資産（純額）	6,716	—
建設仮勘定	195	3,536
無形固定資産	249,944	248,653
のれん	187,845	198,747
その他	62,098	49,905
投資その他の資産	1,246,264	1,401,899
投資有価証券	568,155	609,164
その他	709,900	813,351
貸倒引当金	△31,791	△20,617
資産合計	15,562,478	16,611,518

要約連結損益計算書（単位：千円）

科 目	当第2四半期累計 2010.4.1～9.30	〔ご参考〕	
		前第2四半期累計 2009.4.1～9.30	前期 2009.4.1～2010.3.31
売上高	6,737,394	5,914,294	13,651,729
売上原価	4,909,948	4,186,238	9,743,901
売上総利益	1,827,446	1,728,055	3,907,828
販売費及び一般管理費	1,825,134	1,662,910	3,292,687
営業利益	2,312	65,145	615,140
営業外収益	85,786	58,581	192,149
営業外費用	74,905	54,985	116,780
経常利益	13,193	68,740	690,509
特別利益	49,060	6,453	7,381
特別損失	21,444	3,997	40,034
税金等調整前四半期(当期)純利益	40,809	71,196	657,856
法人税等	71,774	53,425	259,603
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△30,965	—	—
少数株主利益又は損失(△)	△4,090	△2,698	1,392
四半期(当期)純利益又は損失(△)	△26,875	20,468	396,861

科 目	当第2四半期末 2010.9.30現在	前期末 2010.3.31現在
負債の部		
流動負債	5,913,847	6,521,301
支払手形及び買掛金	3,354,206	3,886,921
短期借入金	597,222	388,749
1年内返済予定の長期借入金	1,071,048	1,057,248
1年内償還予定の社債	190,000	190,000
未払法人税等	85,845	240,828
賞与引当金	82,086	77,493
本社移転費用引当金	—	26,521
その他	533,438	653,538
固定負債	3,801,334	4,007,463
社債	550,000	645,000
長期借入金	2,402,109	2,581,983
退職給付引当金	393,692	387,960
役員退職慰労引当金	394,120	383,820
資産除去債務	45,660	—
その他	15,752	8,700
負債合計	9,715,182	10,528,765
純資産の部		
株主資本	6,017,688	6,198,642
資本金	1,046,100	1,046,100
資本剰余金	995,600	995,600
利益剰余金	4,222,558	4,403,023
自己株式	△246,570	△246,080
評価・換算差額等	△170,392	△119,979
その他有価証券評価差額金	11,662	19,835
為替換算調整勘定	△182,055	△139,815
少数株主持分	—	4,090
純資産合計	5,847,295	6,082,752
負債純資産合計	15,562,478	16,611,518

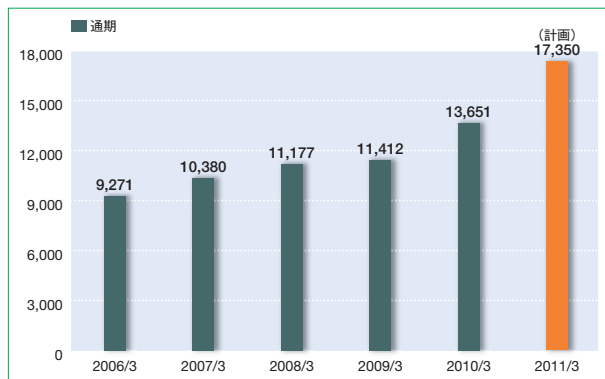
要約連結キャッシュ・フロー計算書（単位：千円）

科 目	当第2四半期累計 2010.4.1～9.30	〔ご参考〕	
		前第2四半期累計 2009.4.1～9.30	前期 2009.4.1～2010.3.31
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	633,598	△21,516	310,988
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△188,770	△755,474	△604,968
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△206,723	1,250,120	1,304,582
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,744	△3,938	△1,235
V 現金及び現金同等物の増減額	231,360	469,191	1,009,366
VI 現金及び現金同等物期首残高	2,491,550	1,482,183	1,482,183
VII 現金及び現金同等物四半期(当期)末残高	2,722,910	1,951,375	2,491,550

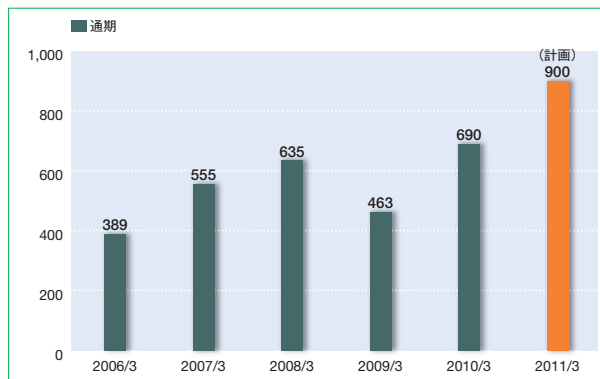
（注）財務諸表の記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結業績推移

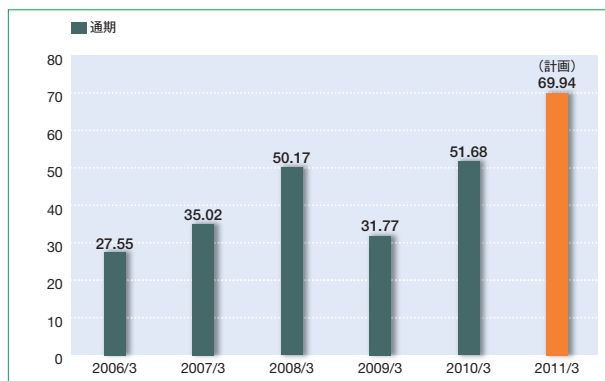
売上高（単位：百万円）



経常利益（単位：百万円）



修正1株当たり当期純利益（単位：円）



修正1株当たり配当金（単位：円）



第2四半期決算のポイント

- 建設用資機材の製造・販売事業
環境・防災分野では、『アンカー』は公共事業費の削減などにより売上が減少した一方で、『落橋防止装置』は既存橋梁の耐震補強案件などで堅調に推移。橋梁構造分野では、斜材架設工事が順調に進み『FUT-H型斜材ケーブル』の売上が好調。以上により、この事業全体の売上高は48億42百万円となりました。
- 建築用資材の製造・販売事業
この事業では、新築マンションの着工数等の指標に市場回復の兆しが見られるようになっており、前期に新たに連結対象となった子会社の寄与により売上高は17億14百万円となりました。
- 建設コンサルタント事業
この事業では、コンゴの道路案件入札やチュニジアの水処理調査、ベトナムでの高速道路の技術者派遣などJICA案件を中心に徐々に海外展開規模を拡大しており、売上高は1億58百万円となりました。

● 株式情報 (2010年9月30日現在)

株式の状況

1.発行可能株式総数	27,400,000株
2.発行済株式の総数	8,350,000株 (うち自己株式671,540株)
3.株主数	1,039名

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 3月31日
中間配当を行う場合 9月30日
そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 単元株式数 1,000株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

- 公告方法 電子公告 (<http://www.se-corp.com/ir/koukoku/index.html>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

○ 株主優待制度の変更について: お好きな優待品を選べるようになりました。

株主様のニーズの多様性にあわせてより一層ご満足いただけるように株主優待品を選択制とし、複数の品目 (一律3,000円相当) リストの中から株主様が選ばれた優待品一品目をお送りさせていただくことと致しました。

なお、選択していただく優待品としては、当社の環境・防災関連事業にちなんで従来より優待品としてお送りしておりました「災害時に備える防災用品 (非常食を含む)」のほか、一般用品も含めたものとさせていただきます。

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1単元 (1,000株) 以上の当社株式を保有されている株主様を対象にお送りします。

毎年贈呈時期: 7月上旬頃の発送を予定しております。



写真はイメージであり、決定した内容ではありません。

● 会社情報 (2010年9月30日現在)

商 号 株式会社エスイー

所 在 地 〒163-1343
東京都新宿区西新宿六丁目5番1号（新宿アイランドタワー）

創 業 昭和42年8月

設 立 昭和56年12月

資 本 金 10億4,610万円

グループ従業員数 383名

グループ事業内容 1.建設用資機材の製造・販売事業

・ 環境・防災分野

・ 橋梁構造分野

・ 建設エンジニアリング分野

・ 橋梁等の補修・補強分野

2.建築用資材の製造・販売事業

3.建設コンサルタント事業

4.バイオマス事業

関 係 会 社 株式会社アンジェロセック（連結）

エスイーバイオマステクノ株式会社（連結）

エスイー朝日株式会社（連結）

株式会社キョウエイ（連結）

株式会社コリアエスイー（持分法適用）

ティアイエス株式会社（持分法非適用）

有限会社日越建設コンサルタント（VJEC）（非連結）

役 員

代表取締役社長	森 元 峯 夫
代表取締役副社長	大 津 哲 夫
常 務 取 締 役	岡 本 哲 也
常 務 取 締 役	塚 田 正 春
取 締 役	本 間 誠 治
取 締 役	猪 俣 明
取 締 役	今 田 顕
取 締 役	高 橋 茂 雄
取 締 役	戸 澤 憲 行
監 査 役	久 保 田 進
監 査 役	寺 石 雅 英
監 査 役	菅 澤 喜 男

当社資料お問い合わせ窓口

詳しい事業内容をご要望の方には、当社ホームページ掲載資料をご送付いたします。
下記、窓口までお問い合わせください。

TEL.03-3340-5500 FAX.03-3340-5539